

事業報告

令和2年度 第3回 大分県立図書館文化講演会兼大分県公立図書館等職員研修会

日時：令和2年11月3日（火） 14:00～15:40

会場：大分県立図書館 視聴覚ホール 参加者：73名 うち研修会参加者16名

<研修趣旨>

生涯学習のキーステーションとして、県民に、本や読書についての学習機会を提供するとともに、県民の読書推進の気運の醸成を図ることを目指す。また、公立図書館等の職員に対しては、郷土について理解を深める研修機会を提供することにより、図書館サービスの向上を図る。

今年度は、コロナ禍にある県民に、生活している大分県の魅力を、見直し、再発見する機会を提供することで、郷土への関心と、より地元を知る意欲を高め関連する資料の読書活動に繋げる。

<研修内容>

【講演会】 「地元で元気に暮らそうえ～なしかのこころ～」
吉田 寛 氏（コピーライター）

- 新型コロナウイルス感染拡大を受けて変化した近況を、ユーモアを交えて紹介
- 自身の体験談を交え「はだし」「かぼす」「わらい」「すなお」「れんしゅう」をキーワードに人生を有意義に過ごすヒントを説明
- 大分の方言を意図的に使用し、暮らしの中にあるおもしろいエピソードを紹介
- 最後に「暮らし」を最初のキーワードにして、次々と2つのキーワードから連想される言葉を会場の参加者に答えてもらい、その後、反対に答えてもらった複数のキーワードをあわせることで、最終的に一つのキーワードに収束させるゲームを実施
(「暮らし」が、様々なフレーズを増殖、収束させることで「汽車の旅」となった)



講師：コピーライター 吉田 寛 氏

<参加者感想>

◇笑いの大切さを理解した。

◇今後の生き方に活かしたい。

◇健康で元気に生きるヒントをもらった様な気がした。

◇思わず笑うを体験した一日でした。さすが吉田寛さん！